

## 講演会報告

9月28日(火)14:00～16:00

南大沢キャンパス9号館2階建築学域会議室(226号室)にて

### 講演会テーマ「シンガポールの病院建築」

講師：岐阜県立森林アカデミー准教授 廣田 桂子先生



シンガポールは世界第三位の高い人口密度をもつ国で、高温多湿のモンスーン気候の中、世界でも最高水準の医療システムを誇ります。

シンガポールにおいて病院建築を計画する際には、デザインや不動産、FMの3つの観点から経営的に成立たせることが求められ、またFMの判断基準として、グリーンマークというシンガポールの環境性能評価が重視されているということでした。



また、グリーンマークの取得状況と実際の建築計画や設備、温熱環境等について、3つの公立病院を対象に現地調査した結果をたくさんの写真で分かり易くご紹介いただきました。またグリーンマークの項目の内容や今後の動向についてもご紹介いただきました。

当日は教員や学生さんなど20名程の参加があり、皆さん興味深く聞き入っていました。質疑も活発に行われました。

廣田先生どうもありがとうございました。

廣田 桂子先生のプロフィール：1996年ニュー・サウス・ウェルス大学建築学部卒業後、象設計集団を経て2006年同大学住環境学部でPh.D取得。同学部付属の持続可能建築研究所とオーストラリア医療施設研究所で、オセアニアからアジアにかけての入居者に考慮した「持続可能建築」、「室内空気質」、「居住環境評価」を軸とした研究に従事してこられました。2009年～岐阜県立森林文化アカデミー在籍。